

新型コロナウイルス感染症患者の感染拡大に伴う 宮崎市保健所支援DMAT活動への職員派遣をおこないました。

宮崎市保健所管内での新型コロナウイルス感染症患者の爆発的増加に伴い、宮崎県から宮崎県災害派遣医療チーム運営要領第5条の規定に基づき、DMATの派遣要請がありました。

このことに伴い、当院に在籍している2名の業務調整員の派遣を決定し、宮崎市保健所への派遣を行いました。

活動内容は、新型コロナウイルス感染症対応に係る各種調整で、県の支援チームとしては、感染症患者の経過観察を行い、病院への入院や受診が必要な患者のスクリーニング及び継続的なフォローを実施しました。

【活動場所】 宮崎市保健所

【派遣延べ日数】 6日間(当院が業務を行った日数)

【派遣職員】 業務調整員 (事務職員) 武田 慎一
業務調整員 (理学療法士) 三角園 祐司



都城北諸県地区・西諸地区における新型コロナウイルス 感染症協力医療機関連携会議が開催されました。

全国的にも新型コロナウイルス感染症の拡大がみられる中、宮崎県においても連日、新型コロナウイルスクラスター発生が報道されており、宮崎市内では、受け入れ病床が逼迫しつつあり、都城市内の医療機関及び宿泊療養施設、また西諸地区の協力医療機関においても医療圏を越えて広域搬送の受け入れを行っているところです。

このような状況の中、今後、新型コロナウイルス感染症の患者が爆発的に増えた場合など、更なる医療機関同士の連携強化を図るため、オンライン会議が開催され、当院からも、医師、看護師(感染看護認定看護師を含む。)、事務職員が参加しました。

会議では、各医療機関の現状報告や今後想定される新型コロナウイルス感染症患者の対応等について情報共有があり、今後も、定期的に本会を開催し、感染症対策における関係機関の連携強化を図ることが決まりました。

